

不登校総合対策計画

太宰府市立水城小学校
児童支援推進部/不登校対策支援部会

1 不登校問題対応の基本方針

未然防止のため普段の生活、出欠遅刻の状況を把握する。また、対象児童への支援は初動のアプローチが重要であることを認識し、早めの対応を心がけ、チーム（生徒指導委員会、不登校対策部会）で検討しながら取り組む。児童の学校での充実感（自己肯定感）を高めるように努めると共に、担任、関係機関との連携を図り、保護者と協力して取り組む。

2 不登校問題の推進体制

校長、教頭、養護教諭、不登校対策部長、不登校対応専任教員、児童支援担当、学年代表で構成し、月1回実施する。

3 校内委員会を中心とした年間計画

月	1 不登校の未然防止のための取り組み	2 不登校兆候を示す児童生徒の早期発見・早期対応の取り組み（組織と連携）	3 不登校児童へのきめ細やかで継続的な支援（組織と連携）	評価
4	○生徒指導の機能を生かした授業づくり・学級活動・児童会活動の活性 ○福岡アクション3の推進 ・家庭への連絡 ・児童地区集会 ・学校生活アンケート	○「チームサポート」、福岡アクション3の推進、「マンツーマン方式」の推進 ○教育相談会議の機能化（ケース会議）、個別の指導記録の作成と活用 ケース会議 ・児童の遅刻欠席状況調査の活用	「チームサポート」の推進（生徒指導部） ・中学校ブロックST会議	
5	・チェックリストの作成 ・運動会 ・学校生活アンケート	・全職員への連絡確認 ・不登校未然防止会議	ブロック生徒指導会議	
6	・眠育の実施（講話、睡眠日誌） ・学級の諸問題の解決 ・いじめに特化したアンケート	不登校未然防止会議		
7	・学級の諸問題の解決 ・学校生活アンケート	不登校未然防止会議		
8				
9	・人権学習 ・学校生活アンケート	・全職員への連絡確認 不登校未然防止会議		
10	・いじめに特化したアンケート ・5年自然教室への取り組み	不登校未然防止会議		
11	・秋の遠足 ・6年修学旅行への取組 ・運動会 ・学校生活アンケート	不登校未然防止会議		
12	・学級の諸問題の解決 ・文化発表会 ・いじめに特化したアンケート	不登校未然防止会議	・ブロック生徒指導会議	
1	眠育の実施（睡眠日誌） ・学校生活アンケート	・全職員への連絡確認 不登校未然防止会議		
2	・6年卒業に向けての取り組み ・いじめに特化したアンケート	不登校未然防止会議		
3	・新しい学年への希望 ・学校生活アンケート	・小中連絡会 ・不登校未然防止会議	・ブロック生徒指導会議	

4 居所不明児、連続して欠席し連絡が取れない児童など安全確保に向けた対応

対応の方針

病気やけがなど正当な事由がなく欠席している場合、担任教諭、養護教諭がチェックした上で家庭訪問を行い、校長に報告する。連続して欠席し、児童の状況が確認できないときは、関係機関と連携し、ケース会議で対応を協議する。

○関係機関との連携

市教委（子育て支援課）、児童相談所、ＳＣ、ＳＳＷ、つばさ学級、児童相談委員と連携を取る。